



## キャビネットを設置 Install and maintain

NetApp  
February 13, 2026

# 目次

キャビネットを設置.....	1
システムキャビネットを設置 .....	1
キャビネットインターコネクトキットを取り付けます.....	1
ボルトダウンキットを取り付ける .....	7
追加のサポートレールを取り付けます .....	8
システムキャビネットに機器を設置 .....	9
システムキャビネットの電源をオンにします .....	10

# キャビネットを設置

## システムキャビネットを設置

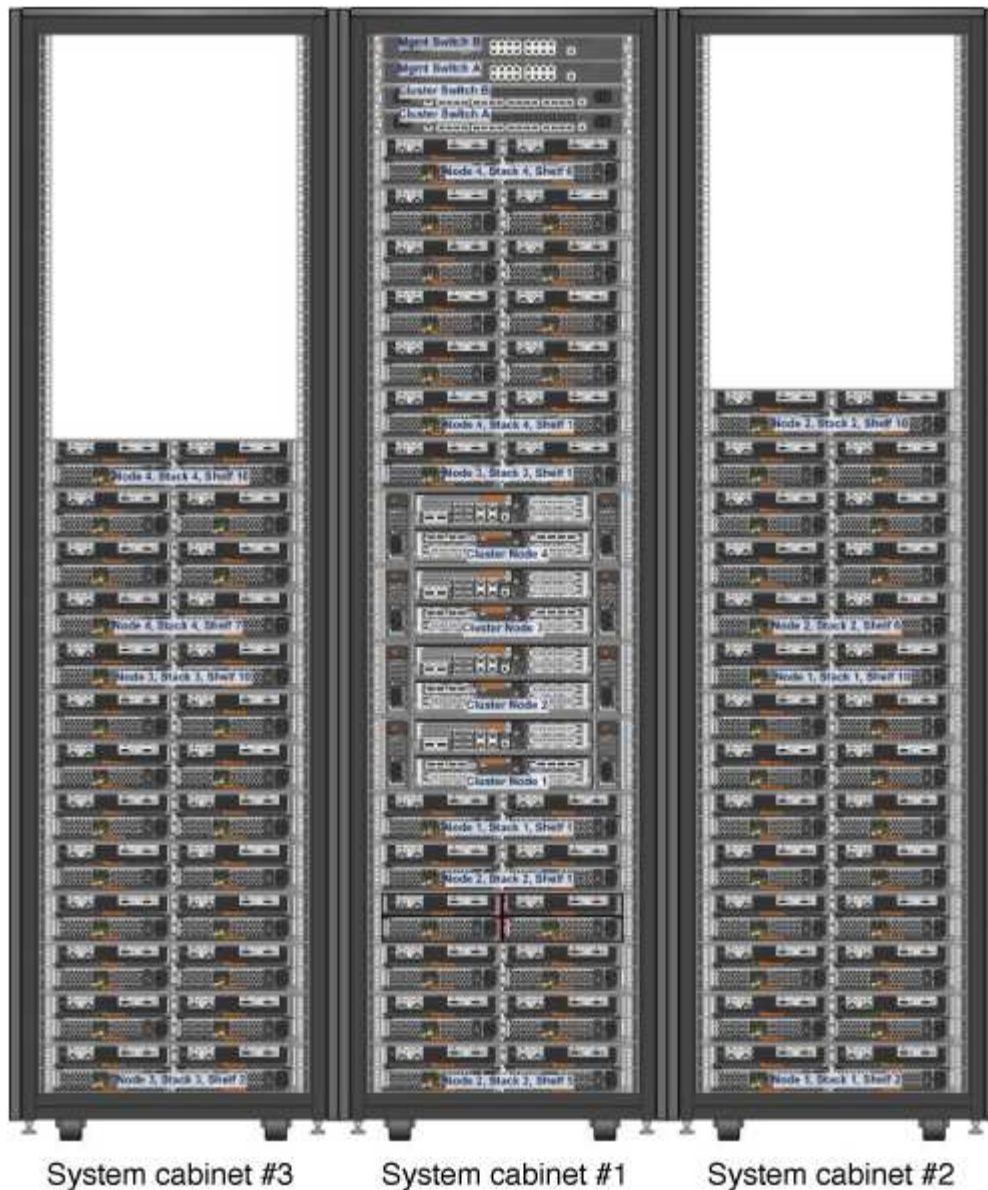
システムキャビネットを発注する際には、ネットアップストレージコントローラとディスクシェルフが設置された状態で注文することも、既存のネットアップ機器がある場合は空のシステムキャビネットを発注することもできます。オプションのインターコネクトキットを使用して複数のシステムキャビネットを接続でき、オプションのボルトダウンキットを使用してデータセンターの床に固定できます。

## キャビネットインターコネクトキットを取り付けます

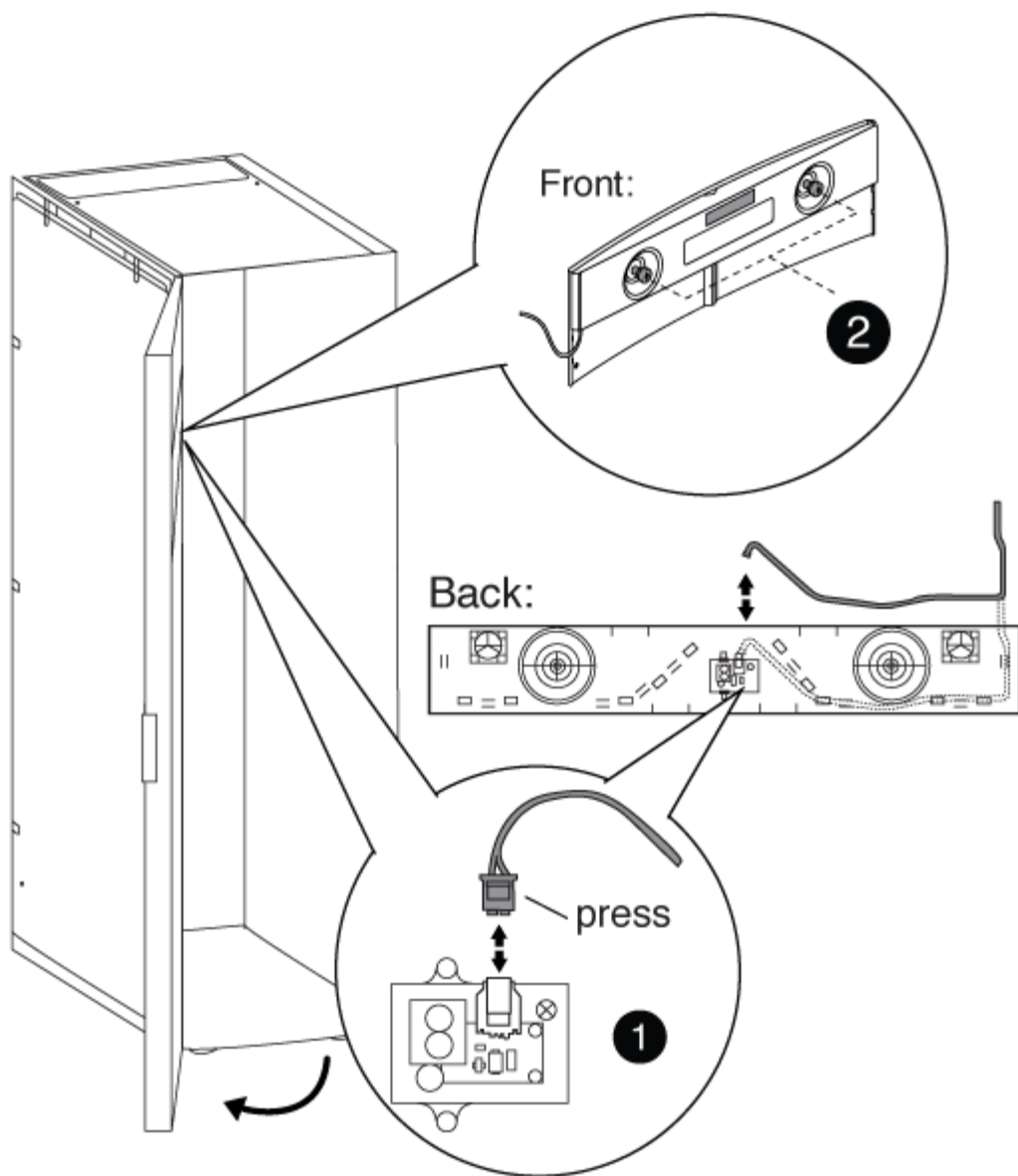
オプションのキャビネットインターコネクトキットを使用して、システムキャビネットどうしを接続できます。キャビネットどうしが離れてケーブルが破損しないように、キットを取り付けることを推奨します。

1. システムキャビネットを近付けて配置します。

次の図のように、コントローラモジュールを搭載したキャビネットを真ん中に、ディスクシェルフを追加したキャビネットをその両側に配置する必要があります。キャビネットの側面どうしが触れ合わない程度の近さに配置します。



2. 推奨事項に従ってサイドパネルをオンにしたインターコネクトキットを取り付ける場合は、開梱時に取り外したサイドパネルを再度取り付けます。
  - a. システムキャビネットの底部から約 15 度離してサイドパネルを持ち上げ、システムキャビネットフレーム上部の縁に掛けます。
  - b. サイドパネルをキャビネットフレームに慎重に押し込み、キーを使用して所定の位置にロックします。
  - c. 残りのサイドパネルについても、上記の手順を繰り返します。
3. サイドパネルを取り外した状態でインターコネクトキットを取り付ける場合は、前面ドアを取り外します。ドアのヒンジは、キャビネットどうしが接する部分にあります。
  - a. 前面ドアのロックを解除して開きます。
  - b. 次の図を参照して、照光ベゼルの電源を取り外します。



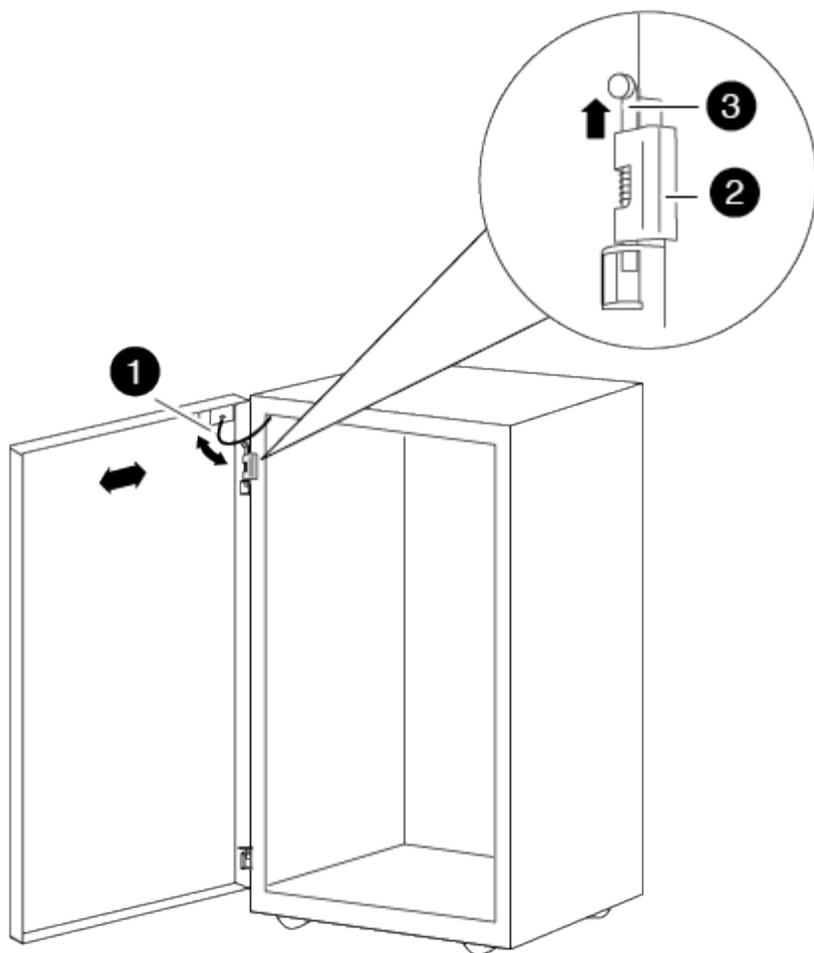
①

照光ベゼルの回路基板とケーブル

②

背面パネルと取り付けネジ

c. 次の図を参考にして、フロントドアを取り外します。



①

ドアの接地ケーブル

②

ドア上部のヒンジ

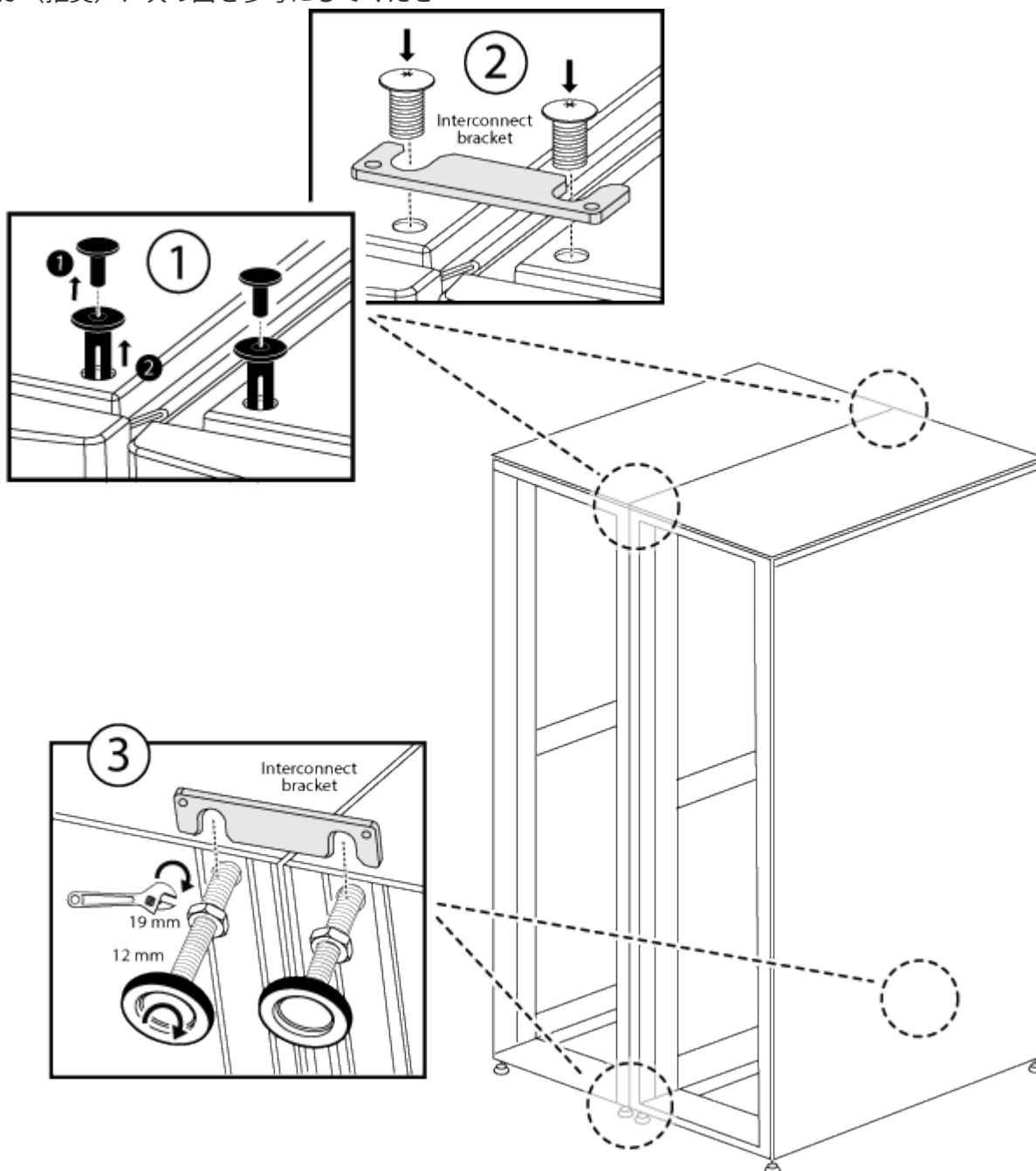
③

ヒンジピン

+ 取り外したドアが誤って破損しないように、安全な場所に保管してください。

4. 背面ドアを取り外します。ドアのヒンジは、キャビネットどうしが接する部分にあります。
  - a. 背面ドアのロックを解除して開きます。
  - b. 上部のヒンジピンを持ち上げて、ヒンジの底部から外します。
  - c. ドアの上部をシステムキャビネットフレームから慎重に傾けて離し、ヒンジピンを外します。

- d. ドアを持ち上げて下部のヒンジから外し、脇に置きます。
5. システムキャビネットをすべて一緒に移動し、システムキャビネットの底部にある 4 つの水平調節脚を調整して同じ高さに合わせます。
6. インターコネクトブラケットを取り付けます。
- システムキャビネットのサイドパネルをオンにした状態でインターコネクトブラケットを取り付ける場合は（推奨）、次の図を参考にしてください



い。

**1**

システムキャビネット上部のプラスチック製ブッシュリベット

2

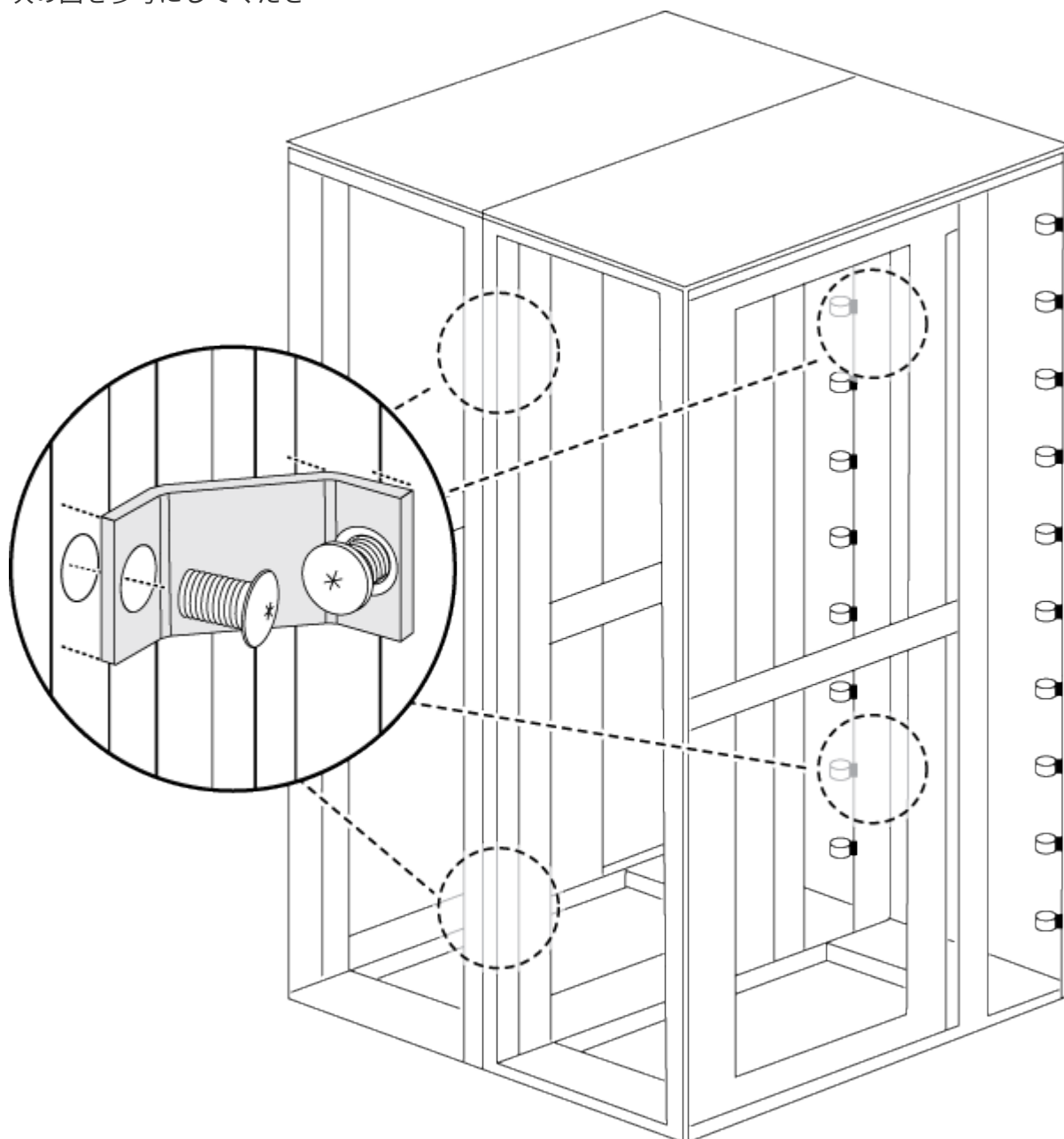
上部インターコネクトブラケット

3

下部インターコネクトブラケット

+

- 。システムキャビネットのサイドパネルを外した状態でインターコネクトブラケットを取り付ける場合は、次の図を参考にしてください



い。



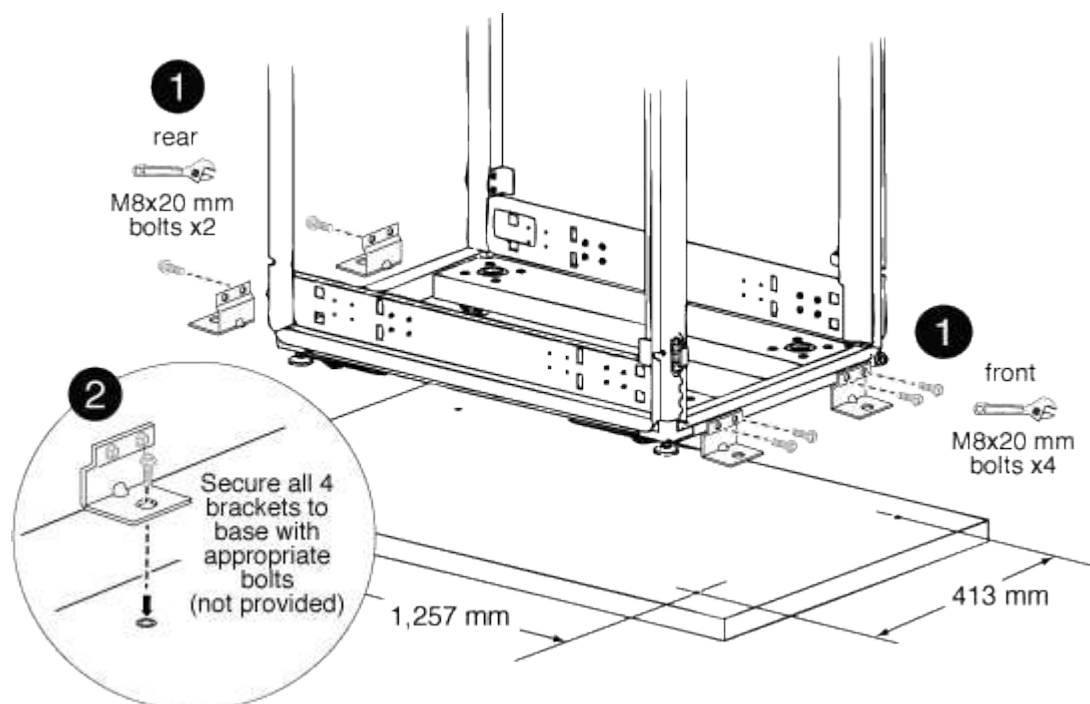
7. 残りのシステムキャビネットについても同じ手順を繰り返します。
8. インターコネクトブラケットのネジをすべて締めます。

## ボルトダウンキットを取り付ける

オプションのボルトダウンキットを取り付けると、システムキャビネットを床に固定できます。キットを取り付けると、システムキャビネットが所定の位置から移動しないようになります。

ボルトダウンブラケットごとに、床に適したアンカーボルトを用意する必要があります。

1. システムキャビネットを設置する床の場所をマークし、キャビネットをその位置に移動します。



1
前面および背面のボルトダウンブラケット
2
ブラケット上の床のアンカーポイントの位置

2. 背面のボルトダウンブラケットを床に固定するアンカーポイントをマークし、ブラケット用の穴を開けます。

床に適したサイズとタイプのボルトを使用してください。

3. ボルトダウンブラケットが低すぎてシステムキャビネットフレームのマウントポイントの位置と合わない

場合は、床の穴の上にスペーサーブラケットを取り付けます。

4. 背面ブラケットを床にボルトで緩く固定し、キットのボルトを使用してブラケットをキャビネットフレームに固定します。
5. 前面のボルトダウンブラケットを床に固定するアンカーポイントをマークし、ブラケット用の穴を開けます。
6. ボルトダウンブラケットが低すぎてシステムキャビネットフレームのマウントポイントの位置と合わない場合は、床の穴の上にスペーサーブラケットを取り付けます。
7. 前面ブラケットを床にボルトで固定し、キットのボルトを使用してブラケットをキャビネットフレームに固定します。
8. 必要に応じて水平調節脚を下げ、背面のボルトダウンブラケットを床に固定します。

## 追加のサポートレールを取り付けます

システムキャビネットには、あらかじめいくつかのサポートレールが取り付けられています。システムにサポートレールを追加する必要がある場合は、システムコンポーネントを取り付ける前にレールを取り付ける必要があります。

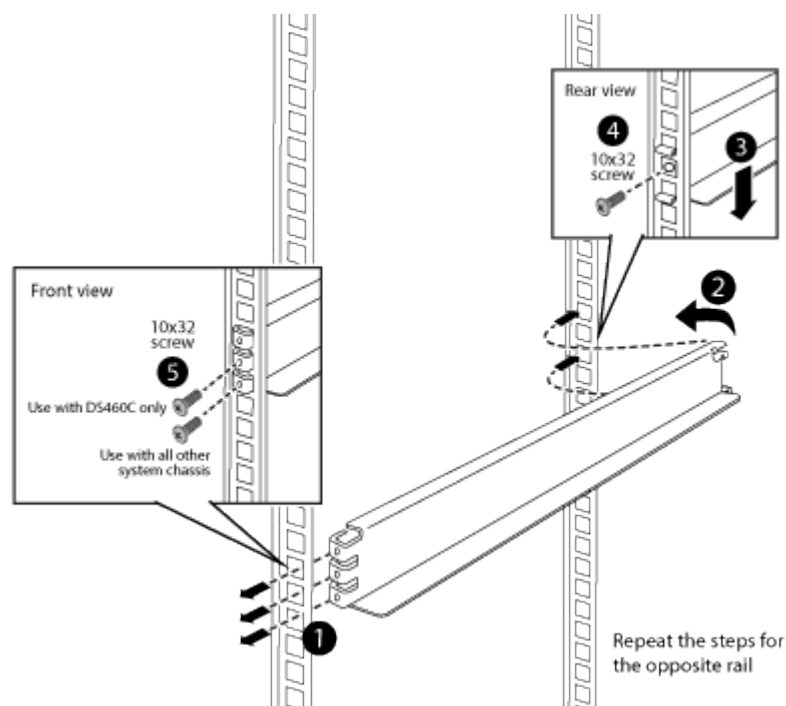
このタスクでは、DS212C および DE212C ディスクシェルフを除くすべてのコントローラおよびディスクシェルフを環境で接続します。これら 2 つのディスクシェルフについては、該当するレールキットの説明書を使用してください。

### "DE212C または DS212C シェルフを 2 支柱ラックまたは 4 支柱ラックに取り付ける"

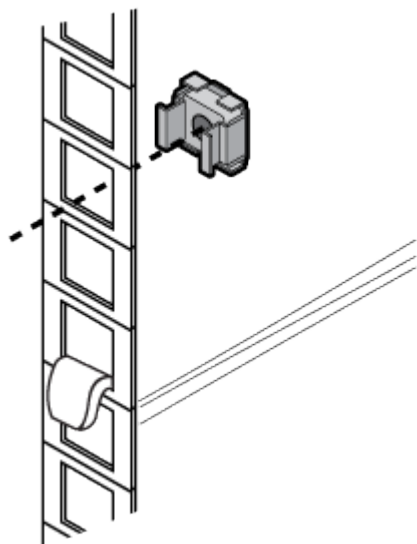
1. 機器に必要なスペースを決定します。

機器の高さから機器に必要な U スペース（1U = 4.45cm）を計算し、システムキャビネット内の使用可能なスペースに基づいて機器を取り付ける場所を決定します。

2. サポートレールを取り付ける場所を確認し、次の図を参考にして取り付けます。



3. 機器のマウントフランジがサポートレールのネジ穴よりも上に来る場合は、必要に応じて、サポートレールの上にケージナットを取り付けます。



## システムキャビネットに機器を設置

サポートレールを追加でシステムキャビネットに取り付けたら、他のシステムコンポーネントがすでに取り付けられているシステムキャビネットにコンポーネントを追加したり、既存のシステムコンポーネントを空のシステムキャビネットに追加したりできます。

1. システムキャビネットの背面ドアと前面ドアが開いていない場合は、ロックを解除して開きます。
2. 機器の設置手順に従って、機器をシステムキャビネットに設置します。

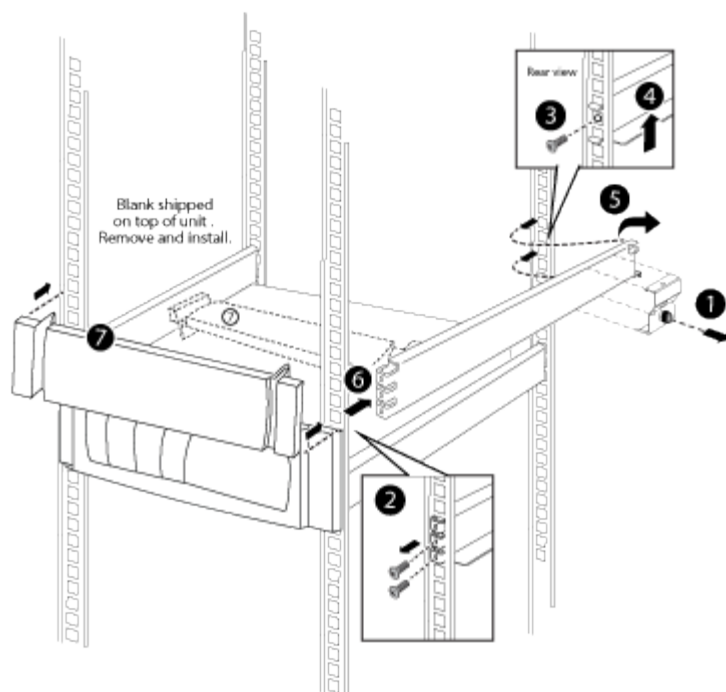
ストレージコントローラは、システムキャビネットの中央に配置する必要があります。ディスクシェルフは、ストレージコントローラの上および下に配置する必要があります。すべてのスイッチは、システムキャビネットの最上部に配置する必要があります。



機器のマウントフランジがサポートレールのネジ穴よりも上に来る場合は、必要に応じて、サポートレールの上にケージナットを取り付け、キャビネットに機器を固定します。

3. システムキャビネットの空のベイにブランクパネルを取り付けます。

機器が取り付けられた状態でシステムキャビネットを受け取った場合は、次の図に示すように、空のキャビネットベイのすぐ下にある機器の上にある固定レールを取り外す必要があります。



4. 前面と背面のシステムキャビネットドアを再度取り付けます。

## システムキャビネットの電源をオンにします

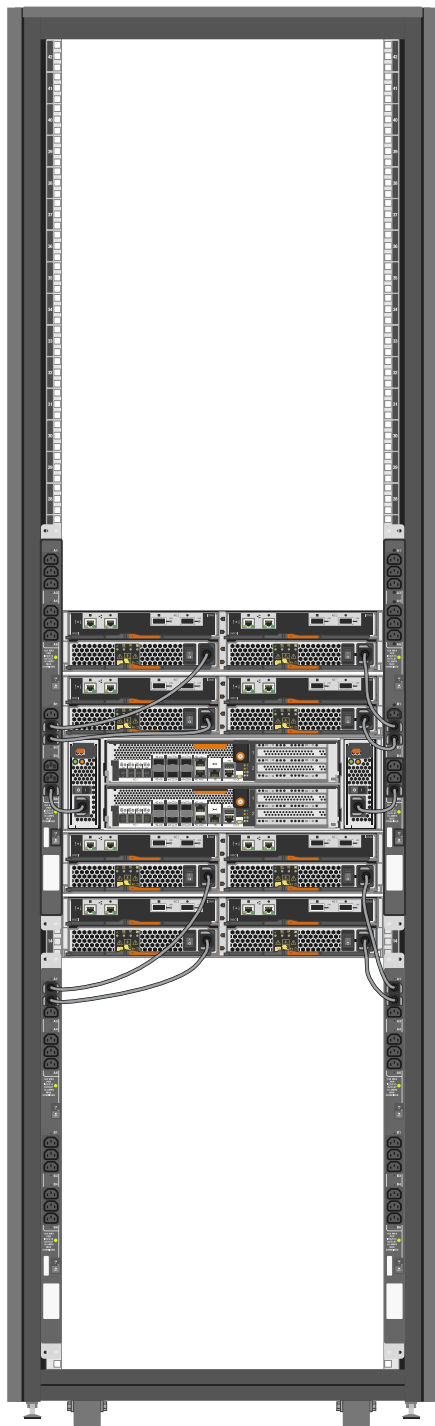
システムコンポーネントを PDU に接続し、PDU ケーブルを AC 電源に接続し、AC 電源を電源に接続し、システムの電源をオンにする必要があります。



PDUに障害が発生した場合にシステムが停止するのを防ぐために、コンポーネントの両方の電源ケーブルを1つのPDUに接続しないでください。図に示すように、異なる回路に接続されているPDSに負荷を分散します。

システムキャビネット内の PDU ごとに別々の電源回路を使用できる必要があります。

1. 機器をPDUに接続します。
  - a. コントローラの電源装置を、異なる電源に接続されている別々のPDUに接続します。
  - b. ドライブシェルフの電源装置を、異なる電源に接続されている別々のPDUに接続します。
  - c. スイッチの電源装置を、異なる電源に接続された別々のPDUに接続します。



PDUの電源ケーブルをシステムキャビネットの次のいずれかの開口部に通します。

- システムキャビネットの上部
- システムキャビネットの背面ドア底部とフレームの間
- フロアの開口部を通してシステムキャビネットの下

2. PDU の電源スイッチまたは回路ブレーカーをオフにします。
3. 各 PDU 電源ケーブルを、別々の AC 回路にある個別の AC 電源に接続します。
4. PDU の電源スイッチまたは回路ブレーカーをオンにします。

5. コンポーネントの電源を入れ、システムをブートします。
6. システムキャビネットのドアを閉じてロックします。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。